

## 「やまりハ」アンケート調査報告

平成25年2月に、今後の運営および質を向上していくことを考える基礎資料として、第1回目の「やまりハ」アンケート調査を実施いたしました。調査結果について「やまりハ」報告をさせていただきます。

### <満足度調査項目>

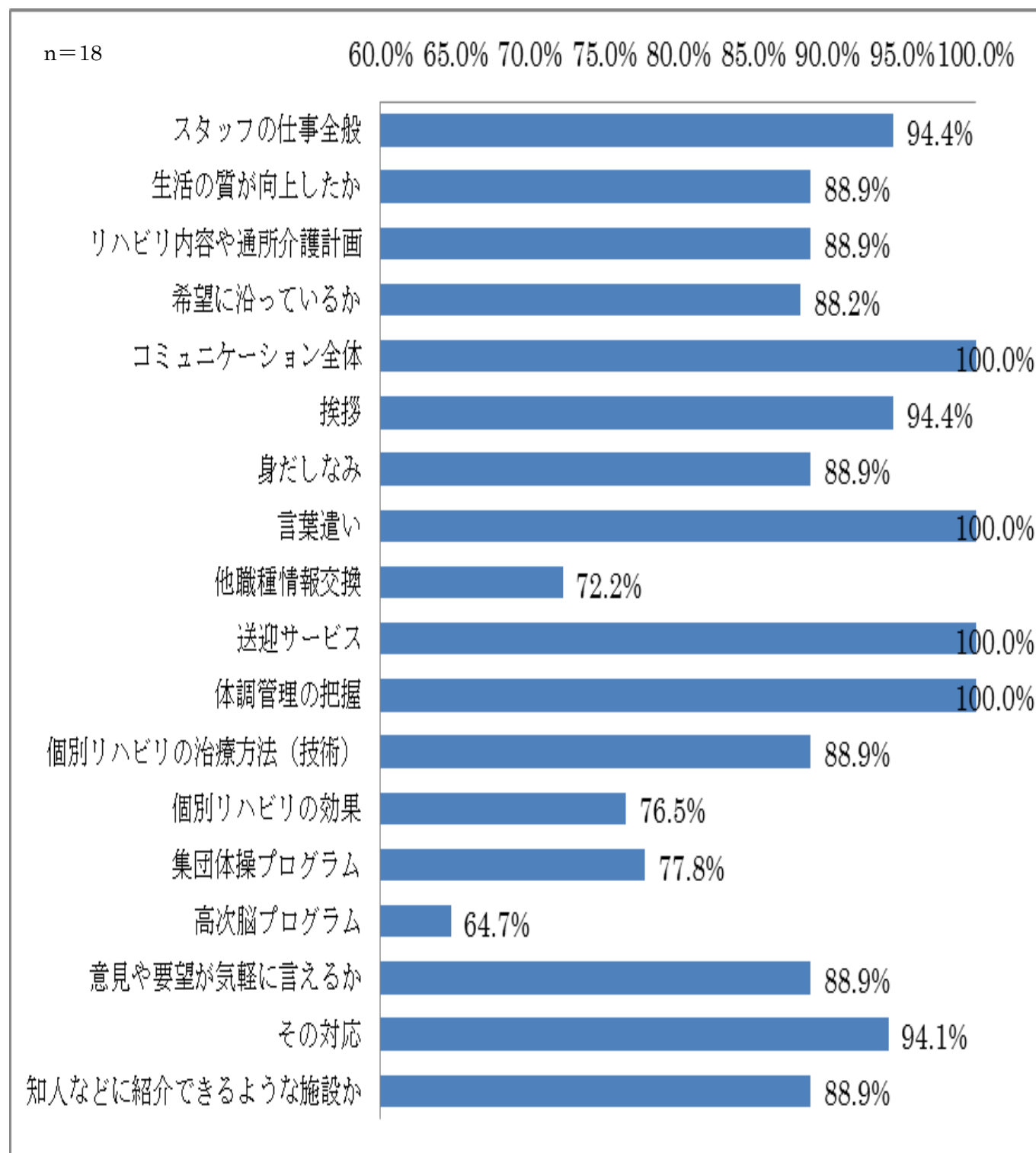
|   |  |
|---|--|
| ① | ◆ <u>やまとスタッフの仕事全体</u> について、満足していますか？   |
| ② | ◆「やまと」が介入したことにより、 <u>QOL(生活の質)が向上</u> したと思いますか？  |
| ③ | ◆ご利用者様・ご家族様に対して、 <u>リハビリテーションの内容(通所介護計画書を含む)についての説明</u> には満足していますか？<br>◆また、実施しているリハビリテーションの内容(通所介護計画書を含む)は、 <u>ご利用者様およびご家族様の希望に沿っていますか？</u>                                  |
| ④ | ◆やまとスタッフとご本人様(ご家族様)との <u>コミュニケーション全体</u> に満足していますか？<br>◆やまとスタッフの <u>挨拶</u> に満足していますか？<br>◆やまとスタッフの <u>身だしなみ</u> に満足していますか？<br>◆やまとスタッフの <u>言葉遣い</u> に満足していますか？               |
| ⑤ | ◆ <u>医師、看護師、リハビリ職員、ケアマネジャー、ヘルパーなど、それぞれのスタッフ同士での情報交換</u> が出来ていると感じますか？  |
| ⑥ | ◆やまとの <u>送迎サービス</u> に対して満足していますか？  |
| ⑦ | ◆やまとスタッフの対応として、 <u>ご本人様(ご家族様)の体調管理の把握</u> に満足していますか？   |
| ⑧ | ◆ <u>リハビリ職種による個別リハビリの治療方法(技術)</u> に対して満足していますか？<br>◆また、 <u>その効果(結果)</u> に満足していますか？<br>◆やまとスタッフの <u>集団体操プログラム</u> に対して満足していますか？<br>◆やまとの <u>高次脳プログラム(脳トレなど)</u> に対して満足していますか？ |
| ⑨ | ◆やまとスタッフおよび事業所に、 <u>意見(相談)や要望を気軽に言う</u> ことができますか？<br>◆また、 <u>その対応</u> に満足していますか？   |
| ⑩ | ◆ <u>当事業所</u> であれば、 <u>家族や友人、知人などに安心して紹介していく</u> ことができますか？   |

### <回収率>

| 配布数 | 回収数 | 回収率  |
|-----|-----|------|
| 18  | 18  | 100% |

### <満足度結果>

※「満足」・「非常に満足」と回答された合計



### <その他…自由記入欄からのコメント>

- ◆もう1つか2つ、リハビリ機器が増えると休まず利用できると思います。
- ◆メンタル的部分に関して、本人も家族も大変満足しております。
- ◆現実、本人が「やまと」さんに行くのを楽しみにしているので楽しみながらリハビリを継続していけると良いと思っております。いつもありがとうございます。
- ◆やまとの皆さん、楽しい時間に感謝。自己の挑戦あるのみ。
- ◆本人が不満に思う面があり申し訳ありません。対応ありがとうございます。(Faより)
- ◆朝早くからスタッフ様がお迎えに来て下さるので感謝しております。何でも聞いて頂けるので安心しております。
- ◆楽しく参加させて頂いております。

以上

### <これからの取り組む課題>

- ◆「個別リハビリの治療方法」に関して  
⇒88.9%の満足度を得ているので「個別リハビリの効果」に関してはリハビリ内容と効果の説明を頻回にして現状の理解を得ていくプロセスを踏む。
- ◆「集団体操プログラム」に関して  
⇒1回/3カ月の内容変更と、筋力トレーニング・嚙下体操・手指の体操などに分割して時間を分けて行うことによって内容と頻度による満足度を高めていく。
- ◆「高次脳プログラム」に関して  
⇒高次脳機能とは何か、また何故プログラムを実施するのかを明確にしていく。頭の体操といっても結果に見えにくいため、見える形を検討していく。

### <アンケート調査後からの対応事項>

- ◆要望にあったリハビリ機器の増加に関して  
⇒「フットバランス」というバランス測定機器を導入しました。評価だけでなく、トレーニングモードも行う事ができます。
- ◆満足して頂いている内容は強みとして活かしていきます。特にリハビリデイサービスとして特化していますので、来年度の計画においてもよりリハビリ要素が充実でき、在宅生活に結びつくように話し合っています。

以上